

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	中央図書館		■担当係	資料係
■評価事業名称	近世・近代文書調査員設置事業			
■事業開始年度				
■評価事業コード	418100 - 007	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	■基本施策	02 社会教育の充実		
	■施策	03 社会教育機能の充実		
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務			
■法令等の名称	図書館法第三条 北上市立図書館規則第11条			
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	近世・近代文書の資料収集、整理、判読を行い、北上市の歴史を深く調査研究するための基礎資料として提供することにより、郷土を理解する一助とし、市民のサービスの向上を図る。また、北上市に関する様々な調査、研究の依頼に対して、必要な資料の選定や調査を行う。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成30年度事業計画	平成30年度事業量実績
01	近世・近代文書調査員設置	近世・近代文書調査員	古文書標題付目録編集参考調査市史編さん室対応	古文書標題付 1,550件目録作成 3,032件目録校正 3,341件(①2,041+1,300)市史編さん室対応26日(①15+②11)

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
直接事業費	1,362	3	1,519	1,490	
人件費	74	1,634	2,647	1,668	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	1,436	1,637	4,166	3,158	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標の説明
01	文献収集・解読	1,128件	1,340件	2,450件	1,550件	1年間に解読整理した件数
02	解読1件当たりコスト	1,273円	1,221円	1,700円	2,037円	フルコスト÷解読数

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

新北上市史への料提供に向けて、新たな家文書(いえもんじょ)の解説、解題を推進した。

問題点・課題等

古文書の解説、解題ができる人材が高齢化している。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

古文書は地域性の高い特別な資料であり、市史編さん事業や各種記念事業にも貢献している。資料整理や解説を更に進めていく。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了